

文献複写料支払いの利便化

広島大学図書館 瀧脇有姫



目次

1 学内構成員のILL料金支払い

- ・広島大学ILL依頼の現状
- ・電子マネーの導入
- ・効果と課題

2 ILL非相殺館からの受付

- ・受付の現状
- ・銀行振り込み導入
- ・効果と課題

学内構成員のILL料金支払い

- ・ 広島大学のILL依頼件数（平成24年度）

複写依頼 7191件（中央4107 霞2093 東千田991）

貸借依頼 2826件（中央1635 霞526 東千田420 西177 東68）

ILL担当 文献デリバリー担当
依頼3人 受付1人
（分館はフロアサービス担当が兼務）

現在のILL料金の支払い方法

- 1 現金
- 2 電子マネー
- 3 切手、その他（相殺外）

公費 全学共通経費より支出

私費 カウンターにて料金収入

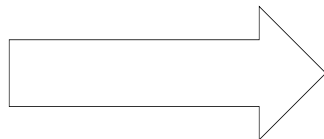
→夜間・休日におけるカウンター職員は学生バイト

＜広島大学における学生バイトの現金収入の考え方＞

契約職員として雇用→現金取扱者への承認は可能

懸念事項 ①夜間時金庫の取り扱い

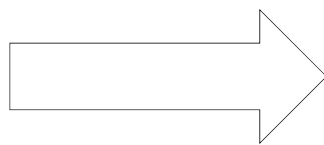
②学生本人への危害のリスク



学生バイトは現金取扱をしない

- ・現金収入可能時間 平日16:45まで
→夜間・土日のILLの受け取りが不可
- ・現金払いはおつりなしで用意が基本
- ・領収書発行業務の手間

学生アルバイトでも取り扱い可能な簡素化した料金徴収



生協電子マネーの導入

広大生協電子マネー
Myple(マイプル)

※新潟大学では券売機で複写料金分のチケット
を購入して支払い

券売機の料金が高い上、複写料金の端数は図
書館負担のため、導入せず



電子マネー払い導入

平成23年 4月 導入

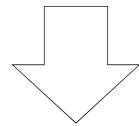
広島大学生協に業務委託
ハンディPOSはリース品

1. 毎朝ハンディPOSを生協へ
2. 生協で前日データのアップロード
3. 生協から図書館へハンディPOSと日計表
4. 図書館で複写料金の支払い
 - ・利用者には広島大学 文献複写と記載されたレシートを発行

※毎月30日を締めとして月の集計表が届く

導入時 支払い件数

H23.4	現金	164件	109974円	28%
	電子マネー	65件	24663円	



H24.4	現金	110件	61408円	49%
	電子マネー	106件	54827円	

現在

H25.8	現金	93件	62323円	61%
	電子マネー	149件	59317円	

※月によって前後はあるものの、
概ね50%前後

効果と改善点

○効果

- ・平日の夜間および職員のいない土日でも文献の受け取りが可能に
- ・おつりの出ないように現金を用意する必要がない
- ・領収書発行の手間を簡素化

○問題点

- ・誤収入の際の返金処理
- ・POSの都合上、5ケタの収入は対応不可
 - 4ケタになるよう分割料金のバーコードを作成
- ・領収書の発行不可
 - レシートを生協に持参し、発行
- ・ハンディPOSに集積されたデータのアップロード

ILL非相殺館からの受付

○これまで

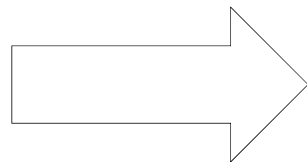
現金書留による前納

- ・現金書留の料金 現金封筒 20円
通常郵便料金 + 420円

複写料金は小額のため、小銭での支払い=重い

依頼館にとって

1. 郵送料の負担増
2. 窓口手続きが必須
3. 郵送時間のロス



現金書留では負担が大きい
との苦情が多数

ILL受付における銀行振込導入

H24.11 文献デリバリー主担当より銀行振込による支払いの提案

H25..6 経理グループからの許可

H25.8 運用開始

銀行振込、現金書留とも前納

<運用方法>

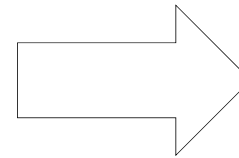
1. 複写依頼があった際に、支払い方法の確認FAX
2. 料金通知
→区分コードを記載して入金(手数料は申込者負担)
3. 経理より入金連絡
4. 入金確認ができたなら複写物の発送

現行振込 開始1か月の現状

8/1以降、非相殺館からの申し込み

27館

内、銀行振り込み希望館



約半数の図書館が希望

15館

件数 17件

料金通知から納入確認まで 1-22日

平均7日

傾向

霞(医学分館)受付は銀行振り込みの件数が多い

効果と改善点

○効果

- ・現金書留に比べ、複写料金外の諸経費の削減
例) 書留料よりも手数料の方が安価
- ・急ぎの依頼に対応可能

○改善点

- ・区分コードがないと依頼の区別がつかない
- ・前納のため、やり取りにある程度の時間がとられる

開始より2か月のため、検証段階

ご清聴ありがとうございました